

国労東日本運輸協議会

安全は輸送業務の最大の使命である

牽

引

発行責任者 木立 幸夫

編集責任者 後藤 征二

2007年10月31日

第44号

# 運輸協議会第19回定期委員会開催



国労東日本伊藤執行委員長を迎え第19回東日本運輸協議会定期委員会が10月12日本部3階会議室で開催されました。

東日本本部からの挨拶と報告で、伊藤委員長から「一つには全国大会で決めあった不採用事件解決に向けての取り組みを東日本本部として全国の先頭に立って奮闘する。2つとして第21回定期大会で決めた一括和解以降の職場実態調査や指導車掌交流、主任者交流などの取り組み、制度要求にまつわる各種取り組み、安定・安全輸送の取り組みにおける施策の検証委員会の立ち上げなどを、一つ一つ確実に成功させ、9地本一体とした取り組みを行えるように東日本本部の指導性を今後一年間奮闘していくので、職協の協力をお願いしたい」とのべました。

第21回東日本本部大会で執行委員選出され、退任される武笠議長から退任あいさつで「5年前に事務長に就任依頼、職場を基礎に要求、調査を実践しながら、会社に向き合ってきた。この5年間に青森、秋田、松本、勝田の各車セの仲間のところに足を運びながら交流を深めたり、事故のあった羽越線や労働者が倒れたと言われ飯山線の足滝駅まで足を運んだりと事故あるところ運輸協ありを示し、要求で本社と議論をたたかわし、いくつかの改善なども勝ち取ってきました。

これから、この姿勢を崩さずに職場の声を、要求かしながら、働きやすい職場を目指して奮闘する決意ですので、運輸の仲間みなさんの協力を要請する」とのべました。

5年間、各地方を毎月回りながら私たち運輸協議会の団結と絆を深めるために奮闘されたことに感謝しつつ、新たな部署でがんばってください。





## 新議長に木立幸男氏を選出

この度議長に選出された神奈川・鶴見線営業所出身の木立です。仕事は検修を担当しています。宜しくお願いします。

さて、就任に当たって簡単にご挨拶申し上げます。

一つは、組織拡大です。この間、一番厳しいと言われております運転職場での組織拡大が報告されています。ここ、東京でも平成採用の運転士を確保しました。これらの拡大は、各職場を大変勇気付けていると思います。自分たちの職場でもできると言う意識を持って拡大に取り組

んでいきたいと思えます。

二つ目は安全・安定輸送の確保の問題です。

西日本・福知山線での大惨事の事故調査委員会報告が出されました。この中でも、運転士への列車遅延へのプレッシャーからスピードオーバーが事故を招いたとすることが事故原因の一つとされています。会社の姿勢が問われる問題でもあります。

私たちは、慢性的な要員不足を解消し、必要な要員を確保していくことを中心に、政府の構造改革・規制緩和政策がいかに安全を脅かしているか等検証していきながら組織拡大・安全問題に取り組んでいかなければなりません。

最後に、JR 東日本とバジ等々の包括的和解ですべての争議が解決しました。残るは最大の差別である1047名不採用事件だけです。ここからが出発点です。今から本当の意味の「労使正常化」・「労使対等」に取り組んでいかなければなりません。職場では、まだまだ差別感が横行しています。全組合員の力で差別をさせない・許さない土壌を作り、JR 職場で「本当の明るい職場」を創っていきましょう。

今こそ、国労組合員であることを誇りに持つことを述べてご挨拶と致します。



会計監査		事務長							副議長		議長	2007年役員体制	
緑川	浩	後藤	坂本	西尾	宇井	菊池	金子	渡辺	三塚	佐藤	進藤		木立
征二	保	一登	太	輝雄	洋	克博	昇	英雄	雄一	幸男			
(東京)	(東京)	(長野)	(東京)	(千葉)	(永戸)	(高崎)	(新潟)	(仙台)	(盛岡)	(秋田)	(東京)		